

## 県立高等学校の今後の募集学級数・募集定員の見込みについて

- 県では、少子化の影響により中学校卒業生数が減少する中、「地域の中の学校」として、地域の人財を地域で育てるため、県立高等学校改革プラン基本プラン(2020年度～2026年度)に基づき、活力と魅力ある県立高校づくりを推進。
- 今般、基本プラン策定から5年が経過し、実施プランに基づく取組の発表も概ね完了したことから、今後の中学校卒業生数の減少に対する施策の検討に資するため、県立高校の今後の募集学級数・募集定員の見込みを改めて試算するとともに、中学校卒業生数の増加がみられるつくばエリアの今後の考え方を整理。

### 1 県立高等学校の今後の募集学級数・募集定員の見込み

#### (1) 1989(H1)年以降の中学校卒業生数・募集学級数の推移(別添1)

本県の中学校卒業生数は、少子化の影響により1989(H1)年をピークに年々減少。

#### (2) 2020年から2024年までの募集定員・入学者数・欠員数等の推移(別添2)

中学校卒業生数の変動に対しては、原則として募集学級数の調整により対応しているが、一定数の欠員も生じている状況。

#### (3) エリア別入学者数と募集学級数の見込み(別添3)

2024年度入学者数を基に今後の募集学級数を試算したところ、2030年までに県全体で37学級(6学級程度/年)の学級減が必要となる見込み。

### 2 中学校卒業生数の増加がみられるつくばエリアの状況(別添4)

中学校卒業生数の増加がみられるつくばエリアにおいては、現時点では定員増が必要との判断には至っていない。

## < 県立高等学校改革プラン >

### 茨城県高等学校審議会 [H30年12月答申]

～人口減少をはじめとする様々な社会の変化に対応した活力と魅力ある学校・学科の在り方について～  
(高校審議会諮問事項)

### 県立高等学校改革プラン 基本プラン (2020～2026) [H31年2月]

#### 【基本的な方向性】

- 「地域の中の学校」として、地域の人財を地域で育成
- 新たな価値を創造する「起業家精神」を育成

#### 実施プランⅠ期 (2020～2023) 県立高等学校の魅力づくりを推進

#### 第1部 (2020～2022) [H31年2月] 中高一貫教育校設置

- 10校
- ・併設型9校
  - ・中等教育学校1校

#### 第2部 (2021～2023) [R2年8月] 魅力ある学校づくり

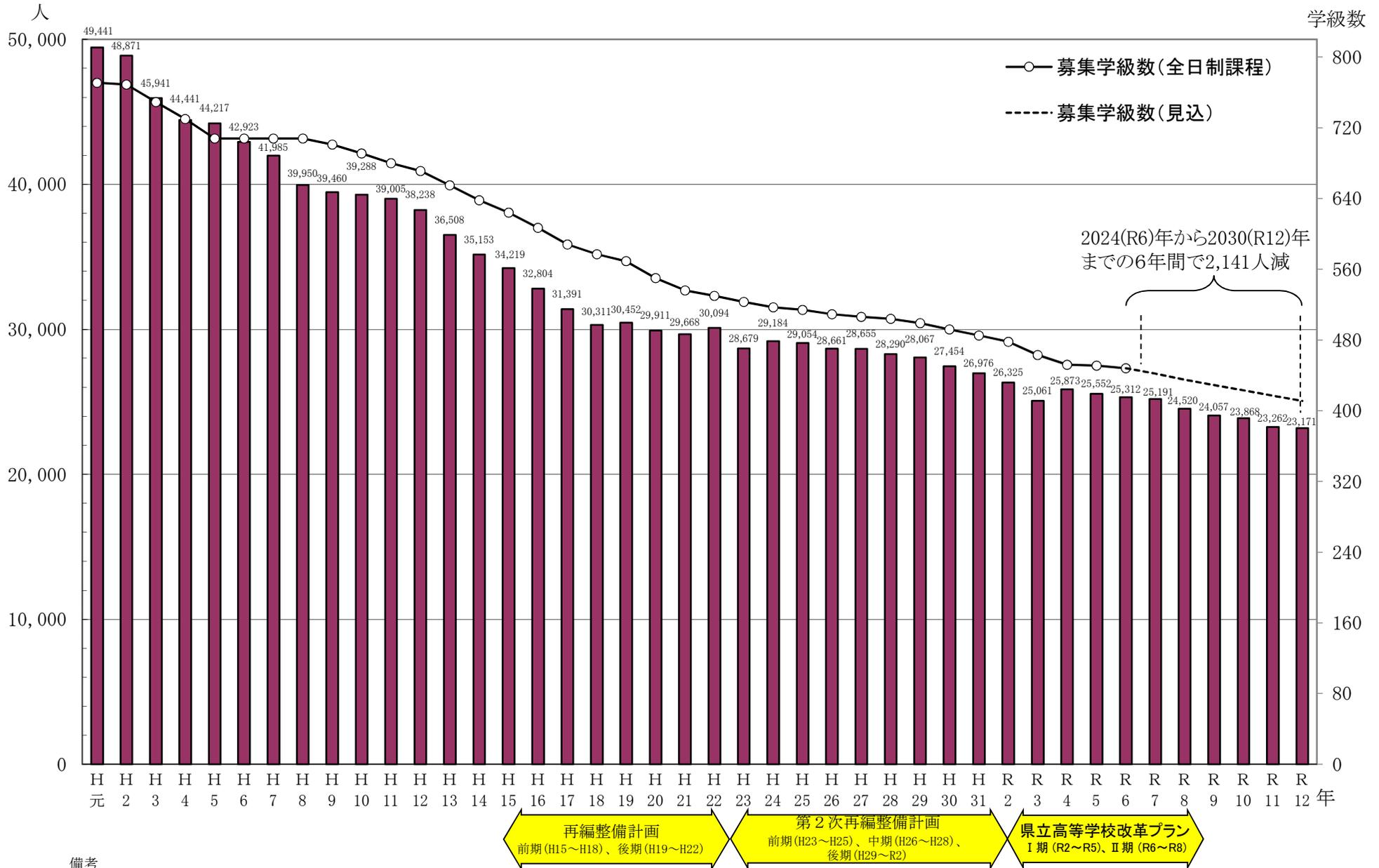
- つくばサイエンス  
I T未来  
外国人生徒支援 [石下紫峰、結城一]

#### 実施プランⅡ期 (2024～2026) [R6年1月]

学校の小規模化への対応  
高等学校同士の共同の学びを推進

- 統合(機能統合) [明野、真壁]  
閉課程 [太田一・定時制]  
学校連携型キャンパス制 [結城一、鬼怒商業]

1 (1) 1989 (H1) 年以降の中学校卒業生数・募集学級数の推移



備考

- ・国公立の中学校卒業生、義務教育学校卒業生、中等教育学校前期課程修了者を含む。
- ・「年」は、各年3月の中学校卒業生数を示す。
- ・2023 (R5) 年以前の卒業生数は実数であり、2024 (R6) 年以降は2023 (R5) 年5月1日現在の在籍者数に基づく推計による見込み数
- ・募集学級数には中等教育学校後期課程を含む。

1 (2) 2020年から2024年までの募集定員・入学者数・欠員数等の推移  
(全日制・中等教育学校後期課程含む)

○中学校卒業生数の変動 ⇒ 原則、募集学級数の調整による対応

[単位：人]

卒業年	2020	2021	2022	2023	2024	2024-2020
中学校卒業生数	26,325	25,061	25,873	25,552	25,312	▲1,013
前年比	▲651	▲1,264	+812	▲321	▲240	—
募集定員	19,070	18,470	18,030	17,990	17,870	▲1,200
入学者数	17,407	16,553	16,631	16,214	16,227	▲1,180
欠員数	1,663	1,917	1,399	1,776	1,643	▲20
欠員のある学校数 (分校含む)	58校	60校	56校	57校	51校	▲7校

○今後の中学校卒業生数 (推計)

[単位：人]

卒業年	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2030-2024
中学校卒業生数	25,312	25,191	24,520	24,057	23,868	23,262	23,171	▲2,141
前年比	▲240	▲121	▲671	▲463	▲189	▲606	▲91	—

(参考)

2024年度募集学級数が  
3学級以下の全日制高校[19校]

磯原郷英、大子清流、小瀬(2)、常陸大宮、水戸桜ノ牧常北校(1)、那珂湊、  
海洋、大洗、茨城東、玉造工業、波崎柳川、石岡商業、竜ヶ崎南、筑波、  
真壁、明野(2)、結城第一、総和工業、三和

1 (3) エリア別入学者数と募集学級数の見込み

別添3

年度 エリア	a 入学者数					b 募集学級数					c 募集定員				
	2024	2026	対2024	2030	対2024	2024	2026	対2024	2030	対2024	2024	2026	対2024	2030	対2024
①	1,290	1,207	▲ 83	1,101	▲ 189	37	35	▲ 2	32	▲ 5	1,480	1,400	▲ 80	1,280	▲ 200
②	540	520	▲ 20	490	▲ 50	21	20	▲ 1	19	▲ 2	840	800	▲ 40	760	▲ 80
③	2,527	2,488	▲ 39	2,305	▲ 222	68	67	▲ 1	62	▲ 6	2,690	2,650	▲ 40	2,450	▲ 240
④	966	957	▲ 9	879	▲ 87	28	28	0	25	▲ 3	1,120	1,120	0	1,000	▲ 120
⑤	718	672	▲ 46	617	▲ 101	20	19	▲ 1	17	▲ 3	800	760	▲ 40	680	▲ 120
⑥	796	731	▲ 65	728	▲ 68	22	20	▲ 2	20	▲ 2	880	800	▲ 80	800	▲ 80
⑦	2,103	2,035	▲ 68	1,912	▲ 191	53	51	▲ 2	48	▲ 5	2,120	2,040	▲ 80	1,920	▲ 200
⑧	144	129	▲ 15	113	▲ 31	4	4	0	3	▲ 1	160	160	0	120	▲ 40
⑨	1,810	1,785	▲ 25	1,685	▲ 125	47	46	▲ 1	44	▲ 3	1,860	1,820	▲ 40	1,740	▲ 120
⑩	2,119	2,125	▲ 6	2,216	▲ 97	58	58	0	61	▲ 3	2,320	2,320	0	2,440	▲ 120
⑪	1,576	1,570	▲ 6	1,435	▲ 141	46	46	0	42	▲ 4	1,840	1,840	0	1,680	▲ 160
⑫	1,638	1,536	▲ 102	1,428	▲ 210	44	41	▲ 3	38	▲ 6	1,760	1,640	▲ 120	1,520	▲ 240
県計	16,227	15,755	▲ 472	14,909	▲ 1,318	448	435	▲ 13	411	▲ 37	17,870	17,350	▲ 520	16,390	▲ 1,480

※中等教育学校後期課程を含む

※水戸農業高等学校は③のエリアに、牛久栄進高等学校は⑩のエリアに分類

※12エリア配置図は2ページ、エリア別学科等配置一覧は3ページ参照

[2026, 2030年度推計値の算出：全日制課程]

- a 入学者数 ⇒ 当該年度の中学校卒業生推計に、各学校の出身市町村別の 2024年度入学率を乗じて算出
- b 募集学級数 ⇒ aの各学校の入学者数を40人単位として積み上げた数値
- c 募集定員 ⇒ b×40 (1学級40人標準)



## 2 中学校卒業生数の増加がみられるつくばエリアの状況

### 1 県のこれまでの対応

- 県では、つくばエリアの中学校卒業生数増加への対応及びつくば市内の県立高校の魅力づくりのため、以下の取組を実施してきております。

年度	対象校	内 容
2023	つくばサイエンス高校	つくば工科高校の改編に併せ <b>2 学級 (80人) の定員増</b> 工業科 4 学級 (160人) → 科学技術科 6 学級 (240人)
2024	牛久栄進高校	<b>1 学級 (40人) の定員増</b> 普通科 8 学級 (320人) → 普通科 9 学級 (360人)
	筑波高校	大学進学ニーズへの対応として、 <b>進学コースを新たに設置</b> 普通科 3 学級 (120人) のうち 1 学級 (40人) を別枠で募集
2025	つくばサイエンス高校	普通科志向の現状から、 <b>普通科 3 学級 (120人) 設置</b> 科学技術科 6 学級 (240人) → 普通科 3 学級 (120人) 科学技術科 3 学級 (120人)

## 2 本県の通学時間の状況（2018年高等学校審議会アンケート調査）

- 本県の高校生の通学時間は、以下のとおり**30分～1時間未満**が最も多く、**通学時間の限度も1時間**と考える生徒が最も多い状況です。

【高校生の意見】現在の通学時間と通学時間の限度（片道）

現在の通学時間	30分未満	30分～1時間未満	1時間～1時間30分未満	1時間30分～2時間未満	2時間以上	計
回答数	5,331	6,288	2,352	293	50	14,314
割合	37.2%	43.9%	16.4%	2.1%	0.4%	100.0%
通学時間の限度	30分	1時間	1時間30分	2時間	2時間以上でも可能	計
回答数	3,570	6,392	2,850	1,032	470	14,314
割合	24.9%	44.7%	19.9%	7.2%	3.3%	100.0%

※調査時期・調査方法：2018年10月9日(火)～10月26日(金)・電子申請システムによる無記名回答  
 調査対象・回収割合：県立高校に在籍する高校1年生・75.7%（回収数14,314人／18,905人(2018年5月1日現在の生徒数)）

【中学生の意見】通学時間の限度（片道）

通学時間の限度	30分	1時間	1時間30分	2時間	2時間以上でも可能	計
回答数	3,990	8,686	3,253	886	616	17,431
割合	22.9%	49.8%	18.7%	5.1%	3.5%	100.0%

※調査時期・調査方法：2018年10月1日(月)～10月19日(金)・電子申請システムによる無記名回答  
 調査対象・回収割合：市町村立中学校又は義務教育学校の中学3年生・69.6%（回収数17,431人／25,044人(2018年5月1日現在の生徒数)）

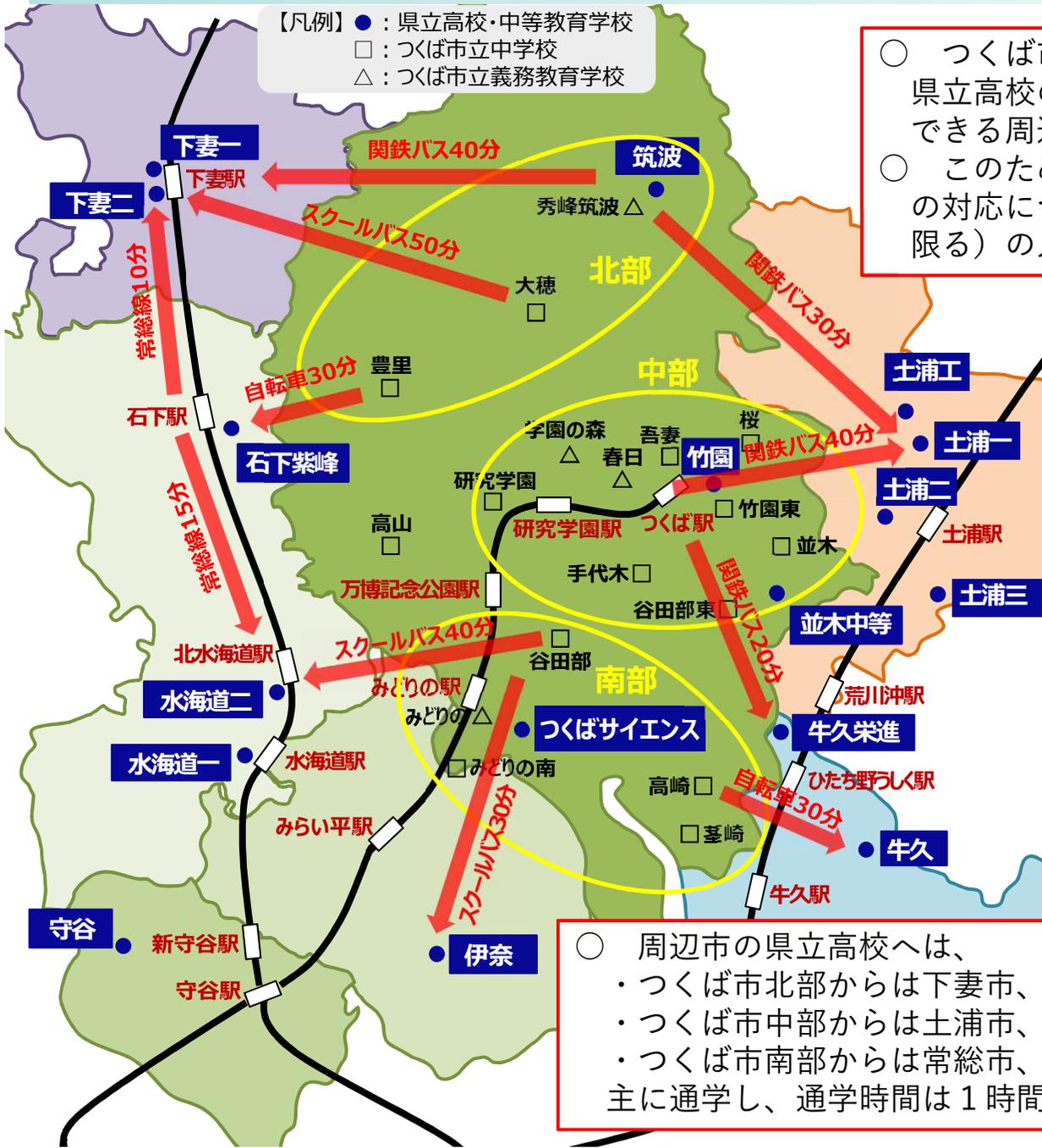
### 3 つくば市からの主な通学圏

【凡例】 ● : 県立高校・中等教育学校  
 □ : つくば市立中学校  
 △ : つくば市立義務教育学校

○ つくば市からの主な通学圏は、つくば市内の県立高校のほか、概ね片道1時間未満で通学ができる周辺市の県立高校です。  
 ○ このため、つくば市の中学校卒業生数増加への対応については、以下の7市17校（全日制に限る）の入学状況を踏まえて検討しています。

市町村	対象校（17校）
つくば市	筑波、竹園、つくばサイエンス、並木中等
常総市	石下紫峰、水海道第一、水海道第二
つくばみらい市	伊奈
守谷市	守谷
土浦市	土浦第一、土浦第二、土浦第三、土浦工業
牛久市	牛久、牛久栄進
下妻市	下妻第一、下妻第二

○ 周辺市の県立高校へは、  
 ・つくば市北部からは下妻市、土浦市、常総市の県立高校に  
 ・つくば市中部からは土浦市、牛久市の県立高校に  
 ・つくば市南部からは常総市、つくばみらい市、牛久市の県立高校に主に通学し、通学時間は1時間未満です。



## 4 2024年入学状況等を踏まえた今後の見込み

- 現在の推計では、**7市の中学校卒業生数が最大(7,043人)となるのは2028年**で、**2024年から180人増加の見込み**です。
- **今年度の筑波高校・つくばサイエンス高校の欠員数の合計は194人**であり、**中学校卒業生数**だけで比較すれば、**現行の募集定員**で足りることになります。
- 引き続き、**筑波高校・つくばサイエンス高校の欠員解消を図ってまいります**。
- なお、魅力づくりにより**筑波高校・つくばサイエンス高校の欠員が解消していくことを前提として**、**2028年の対象17校の入学見込みを推計したところ**、**2024年の募集定員4,120人に収まっていること**、さらに**その後は減少が見込まれていること**から、現時点では**定員増が必要との判断には至っていません**。

卒業年	2024	2025	2028	2030	2032	2028-2024	2030-2024
7市の中卒者数(前年増減)	6,863 (+81)	7,003(+140)	7,043(+149)	7,020(+148)	6,688(▲236)	+180	+157
うち つくば市	2,563 (▲15)	2,668(+105)	2,817(+130)	2,943(+169)	2,925 (▲65)	+254	+380
対象17校の入学見込み①	3,918	4,078	4,115	4,094	3,982	+197	+176
対象17校の募集定員 ②	4,120	4,120	4,120	4,120	4,120	—	—
対象17校の募集定員と入学見込みの差(②-①)	202	42	5	26	138	—	—

※中卒者数は、今年度時点の推計。国公立中学校、義務教育学校及び中等教育学校(前期課程)を含む。  
対象17校の入学見込みは、2024年度市町村別入学者数から算出。